

NPO ハロハロインターン修了書

川崎千尋

1、活動内容

<期間>

2018年5月:インターン開始(オンラインで日本語教室の講師として)

同年7月:来比

2019年7月:帰国、インターン終了

<活動内容>

年間を通じて、日本語教室とスタディツアーを主に担当した。

- ・日本語教室事業:講師としてオンラインと現地で日本語を教える、イベントを企画・開催する、日本語能力試験の手続きをする等
- ・スタディツアー:参加希望者とのメール対応、当日の案内、値段の設定等

2、気づき、学び、反省

初めの頃は、先代インターンから引き継ぎがなかったこともあり(現在は引き継ぎやインターン同士でのサポートが活発です!),代表の言っていることについていけなかったり、事業の進め方が理解できず大変だった。

また、フィリピンには路上生活者や物乞いの子供がたくさんいるためそちらの方に意識がいき、ハロハロのようにコミュニティの支援をすることにピンと来ていなかった。それは結果が出るのに時間がかかり、貢献が見えにくい気がしていたからだった。しかし事業が軌道に乗り進歩していくと、持続可能な支援が見えて来て意義深かった。

現地のスタッフや学生とできるだけ交流し寄り添おうとしたことで得られた関係が、一番の収穫だった。

反省点は、もっとスケジュールを意識するべきだったことです。

3、次のインターン生に望むこと

ハロハロのインターンは大手企業のインターンとは異なり、自分で考え行動し新たな可能性を見つけていくことができると思います。受け身にならず、自分は何をすべきか常に考えながら行動するとより良い活動になるのではないのでしょうか。

また、多くの人が「貧困に日々直面しその現実を知りたい」というような思いでインターンを申し込むと思いますが、インターンはスタディツアーではないので、団体の運営や事業の促進をするのがメインの仕事です。そこを理解し、能動的に活動しチャンスを世界に広げていってください!

